

学校だより 安佐北 高

修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656-0600 FAX 082-818-5140
web http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp

平成 23 年度
第 5 号
11月17日
(霜月)
(NOVEMBER)

『 欲観千歳、則審今日 』 荀子

せんざい み ほつ すなわ こんにち つまびら
千歳を観んと欲すれば、則ち今日を審かにせよ

未来予測をする場合、未来だけを見ても仕方がない。今日のことを明確に知ることが大切なのだという。未来につながる目や兆しは、現在の中にある。今、兆しつつある兆候を発見して、その上に立って将来を展望せよ。



◎ 平成 23 年度「基礎・基本」定着状況調査

6月14日(火)に、公立中学校2年生を対象として、広島県内一斉に「基礎・基本」定着状況調査が行われました。内容は国語、数学、英語の3教科と、生活と学習に関する意識・実態の調査です。このほど、その調査結果が発表されましたので、国語、数学、英語の3教科についてご報告いたします。

昨年に比べ、国語の通過率が下がっていますが、広島県、広島市ともに、昨年度よりも通過率が低くなっているため、問題の難易度が高かったと思われます。数英では逆のことが言えます。今後ともさらなる学力向上に努めるとともに、生徒一人一人の弱点を見つけ、その補強に努めていきます。



本校の結果分析
と今後の取組

国語

【分析】
「書くこと」の領域では、県・市の通過率が70%台であるのに対し、本校は90%と高い通過率になっています。これは、日常の授業において、自分の意見を書く活動を頻繁に取り入れているため、書くことに対する抵抗がないことがその一因であると考えられます。また、本校では、読書習慣が身につけている生徒が多く、語彙が比較的豊富で、文章を書くことを楽しむ傾向にあると思われま

課題としては、「読むこと」の領域において、「登場人物の心情の把握」が低い通過率(78.9%)になっている点が挙げられます。さまざまな機会をとらえて自分の体験と結びつけながら登場人物の心情を読ませるよう工夫していく必要があると考えています。

【今後の取組】

・説明的な文章の学習においては、その教材、その学年でつけるべき力を明確に示し、次の目標を生徒が意識できるような取組を行います。
・文学的な文章の学習においては、登場人物の言動の意味や、置かれた状況を考え、理由を説明しながら人物の心情などをとらえる力をつけていきます。具体的には、授業の中で、相互批評をする言語活動を取り入れます。

数 学

【分析】

数学の通過率は94.6%で、「数と式」の領域の通過率が97.3%で、基本的な計算の能力は身につけてきていると思われます。

「図形」領域の通過率は94.2%で、立体の位置関係や求積問題で、他の問題と比べるとやや通過率の低い問題も見られました。実物を使って、立体的な見方を養っていかねばならないと思われます。

「資料の活用」領域の通過率は75.7%で、他の領域に比べかなり低くなりました。相対度数についての理解が不十分でした。学年末で問題演習に十分時間を割けなかったことが原因と考えられます。3年時の標本調査の単元で、復習していきたくて考えています。

各教科の平均通過率 (%)

	国 語	数 学	英 語	3教科合計
広 島 県	73.2	74.7	71.9	219.8
広 島 市	70.2	72.4	69.9	212.5
安佐北中学校	82.7	94.6	93.6	270.9

「数量関係」領域の通過率は95.4%で、基礎基本は理解できていると考えられます。ただ、その後の1次関数において、つまづく傾向があるので、問題演習を繰り返しながら、定着に力を注いでいきたくて思います。

【今後の取組】

・単元ごとに確認テストを実施し、基礎・基本が定着していない内容を重点的に演習していきます。
・継続的なドリル学習を行い、計算技能の定着を目指していきます。
・基礎・基本の定着にとどまることなく、筋道を立てて課題を考えていく力、自分の考えを分かりやすく表現していく力などの育成を図っていきます。
・図形の学習では、モデルを用いるなどして、視覚的に図形をとらえることができるように授業を工夫していきます。
・授業時間の配分を見直し、より計画的に授業を展開していきます。

英 語

【分析】

「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」の3つの領域では、いずれも94%以上の高い通過率になっています。特に「聞くこと」の領域における、「英語での問いかけに対する適切な応答」の問題では、3問中2問が通過率100%でした。授業中、パートごとに毎回、英問英答の活動を行うことにより、適切な応答の仕方が身につけてきていると思われます。

一方、「読むこと」の領域は88.5%で、やや低い通過率となっています。「適切な語を用いた会話文の組立」で、疑問文における助動詞とbe動詞の使い分けがきちんと身につけていないためと考えられます。

【今後の取組】

次のような取組を通して、4技能の能力をさらに高めていきます。

・「聞くこと」曜日や数字、とりわけth音の聞き取りに課題がありますが、音声だけではなく、文法的な観点からも英文を理解できるように訓練していきます。

・「話すこと」設定教科のコミュニケーション英語を中心に、ALTと個別の英問英答をする機会を増やします。

・「読むこと」つまずきの見られる疑問文全般と、動詞の変化形について、くり返し復習し、応用問題にも取り組みます。

・「書くこと」毎週実施している単語テストは、英文テストとして定着させ、文を書くことに抵抗をなくしていきます。また、1日1ページノートの取組を継続すると同時に、スピーチの原稿づくりや英文日記の課題も増やします。

◎芸術鑑賞 (10月13日)

「行動展示」で有名になりました旭山動物園が舞台の映画『旭山動物園物語〜ペンギンが空をとぶ』を本校講堂で鑑賞しました。



◎校外清掃 (10月18日)

今年度2回目の校外清掃と教室のワックスがけをしました。

◎広島大学出張講義 (10月20日)

4・5年生対象に、広島大学生物生産学部准教授 西堀 正英先生をお迎えして、『生命、食と環境のサイエンス』をテーマに、出張講義をしていただきました。



(了)